うわじまし

社協だより 8

2025 Vol.141

～わたしが活きる宇和島～

特集

吉田まる
「ほっとけない」から始まる見守りの輪

吉田まる「ほっとけない」から始まる見守りの輪

特集

高齢化やつながりの希薄化が課題となる中、吉田町では、企業・団体が連携し、地域住民への見守りを行う活動「吉田まる」が注目を集めています。

今回は、その中でも若手の中心メンバーであるローソンオーナーの山口さん、NPO法人奥南でざいんセンターの奥谷さん、骨格インストラクターの濵名さん、そしてこころ商店の後藤さんに、吉田まるの誕生秘話から活動の現状、そして未来への展望についてお話を伺いました。

コロナ禍と酷暑の地域から生まれた「見守り」のアイデア

吉田まるの構想が生まれたのは、新型コロナウイルスが流行中で、酷暑となった令和4年頃でした。地域の皆さんも外出を控え、お隣さんの異変に気づきにくい時期があったといいます。そんな中、「地域のために何か役に立ちたい」という思いを抱えていたのが、吉田町で活動する企業の皆さんでした。というのも移動販売などは日頃から地域を巡る機会が多く、見守り活動との親和性が高かったのです。そういった方々との情報交換がきっかけとなり、「企業版見守りグループ」というアイデアが生まれました。そして、社協の呼びかけに応じて、そのアイデアを具体化していくベースをつくってくれたのが今回お話を伺った4名でした。

「吉田まる」に込められた想いとシンボルマークの誕生

「せっかくなら、思いやりの気持ちをみんなが見える形にしたい」という願いから、吉田まるのシンボルマークが作られました。奥谷さんが代表を務める奥南でざいんセンターに依頼し、親しみやすいデザインが完成しました。

このマークには「見守っていることがわかることで、ちょっと安心できる雰囲気」を作りたいという想いが込められています。

吉田まるのステッカー

「緩やか」な活動が紡ぐ地域の繋がり

吉田まるの最大の特徴は、その緩やかな活動方針にあります。「型にはまらず」「できる人ができることをする」という考え方が共有されています。例えば、外回りの営業中に、暑い中を帽子もかぶらずに歩いている高齢の方にちょっと声かけをするなど、自然で無理のない見守りが行われています。その姿勢が多くの賛同を集め、現在、吉田まるには約60の企業が参加しており、その輪は少しずつ広がっています。

未来への展望：地域全体で育む「当たり前」の見守り

最後にメンバーに今後の展望を伺ったところ、吉田まるを「敷居が高くない」活動と感じて気軽に参加することにより、「自分にできることを考えるきっかけ」となってほしいと話されました。この活動は「1、2年で根付くものではなく、続けることが大事」であり、将来的には企業だけでなく「個人の方も含めて、みんなが声をかけ合える町になる」ことを理想としています。

吉田まるは、単なる企業による組織やネットワークにとどまらず、地域の人々が持つ「他人に対する思いやり」や「ほっとけないという思い」が自然に集まったものであり、それらを「見える化」することで、地域に「ほっこりする」「安心できる」雰囲気をつくり出す存在です。彼らの活動は、これからの地域における新しい「見守り」のあり方を示していました。

訪問販売で楽しく話す中で、
「ちょっと気にかける」

山口さん
(ローソンオーナー)

「お店で見ていたお客さんが来られなくなって大丈夫かなという思いがあったんです」と語る山口さん。足が悪くて来店できない高齢者が増えている現状を受け、「買い物の機会がないお客さんに、商品を届けたい」という思いから移動販売を始め、吉田まるに参画しました。「困っている人」を優先する姿勢が印象的です。

奥谷さん
(奥南でざいんセンター)

農業を営む傍ら、NPO法人奥南でざいんセンターを立ち上げ、ゲストハウス運営やイベント開催を通じて地域コミュニティの構築に関心を持つ奥谷さん。吉田まるのロゴデザインを手がけた彼は、「圧のない見守りのスタンス」が「今っぽい」「みんなが関わりやすい」と共感し、活動に参加しました。

濵名さん
(骨格インストラクター)

当初は保険会社に勤務し、吉田地区を担当していた濵名さん。子育てをする中で、かつては当たり前だった近所のお年寄りによる見守りが希薄になっていると実感しました。吉田まるのような活動を通じて「味方がいるんだな」「いつでも助けを呼んでもいいんだな」という「安心」が地域に広がっていくことを願っています。

後藤さん
(こころ商店オーナー)

20年以上の都会生活を経て吉田に戻ってきた後藤さん。「吉田を良くしたい」「吉田のことが好き」という共通の思いを持つ仲間との繋がりが、吉田まるの活動に参加するきっかけとなりました。メンバー全員が「無理に頼まれた感じじゃなく」自発的に見守り活動に参加してくれることへの感動を話してくれました。

就任のごあいさつ

会長
廣瀬　孝子

副会長
安岡　賢司

副会長
宮本　直明

常務理事
伊手　博志

このたびの役員改選におきまして、宇和島市社会福祉協議会の会長を、再度仰せつかり、その責任の重さを感じております。これまでの経験も踏まえ、円滑な運営に努めるとともに、地域福祉の充実と発展に尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、地域のつながりや人間関係の希薄化などにより、地域の生活課題や福祉ニーズ等が潜在化し、人々の困りごとが見え難くなっております。また、地域で求められる福祉ニーズは、多様化、複雑化しており、福祉サービスの中核的な担い手である私ども社協へは、これまで以上に地域に根差した活動が期待されております。

こうした状況において、誰もが安心してその人らしい暮らしができるよう、支援が必要な人や支援が届いていない人を見逃すことなく、受け止めることが求められております。

そして、住民や地域の関係者と協働した継続的な支援や、住民が主体となる、それぞれの地域の特性を活かした「支え合い」「助け合い」の仕組みづくりへの支援も、社協の業務においてより重要になるものと感じております。

私ども社協には、安定的な財政基盤や人材の確保など解決すべき課題は多くありますが、行政とのパートナーシップも図りながら、各関係者・機関・団体など、地域資源とのネットワークを構築し、連携、協働することで、必要な福祉サービスの提供に努めてまいりたいと思います。

今後とも、地域福祉の主たる担い手としての使命が果たせるよう、役職員一同、最善を尽くしてまいりますので、皆様方の一層のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

宇和島市社会福祉協議会
会長　廣瀬　孝子

【役員任期：令和７年６月24日～令和９年６月定時評議員会の終結の時まで】

役員

【会長】
廣瀬孝子

【副会長】
安岡賢司
宮本直明

【常務理事】
伊手博志

【理事】
小關啓子
山瀬忠弘
山口三千子
本田裕明
藤田太陽
横山泰司
畠山顕治

【監事】
山本志郎
中原一嘉

令和７年度　宇和島市社協会長表彰

長年にわたりボランティア活動を続けられ、地域福祉の推進にご尽力いただいた方や団体様に、宇和島市社会福祉協議会会長より、表彰状をお渡しさせていただきました。おめでとうございます。

【水谷　佐刀美 様／吉田地区】

20年以上にわたるサロン活動では、地域住民の生きがいづくりに貢献されているほか、宇和島地区更生保護女性会、吉田いぬび食堂、親子のひろばなどのボランティア活動においても、地域福祉活動にご尽力されています。

【ボランティアコスモス会 様／三間地区】

結成から25年間にわたり、高齢者宅を中心とした草刈りや清掃、庭木の剪定などの支援活動をされており、「もみの木」への定期的な支援活動、ご近所の独居高齢者の見守りなど、地域福祉に幅広く貢献されています。

▲二次元コードを使ったボランティア受付を体験しました。

▲ＩＣＴによって得られたデータから何が読み取れるかをメンバーでグループワーク。

活動報告

災害ボランティア連絡会

５月27日に、令和７年度災害ボランティア連絡会を開催しました。この連絡会は、平成30年７月豪雨災害をきっかけに始まり、災害が起きた時に迅速に連携がとれるよう、主に市内の関係団体が集まり、毎年開催しています。

講師には、合同会社ＨＵＧＫＵＭＩの長井一浩氏。令和６年能登半島地震では、インターネットによるボランティア受付の仕組みづくりなどを支援しました。今回はその経験を基に「ＩＣＴも活用した災害ボランティアセンターの運営」をテーマに研修を行いました。

研修では、ボランティアの事前登録の仕組みなど石川県の事例を紹介。その後、連絡会メンバーでＩＣＴを用いたボランティア受付を体験しました。手書きでの受付では５分間で８人の受付にとどまりましたが、ＩＣＴを使うと40人も受付ができました！また、その情報を共有することも非常に簡単にできるようになりました。

このような事務手続きを円滑に行えることで、災害ボランティアセンターに携わる支援者たちが、被災者の困りごとの解決に、より注力できるようになります。

その一方で、「支援の効率化ではなく、支援のための効率化」であり「何のためにＩＣＴを活用するのかを見失ってはいけない」と長井氏は強く訴えています。

今回の研修を通じて「被災者とのコミュニケーションを大切にすること。そしてそのために、ＩＣＴも活用しながら連携をとって災害支援にあたること」を災害ボランティア連絡会のメンバー全員が学びました。本会としても、被災者に寄り添った丁寧な支援ができる社協を目指し、今後も関係団体やボランティアの皆さんと協働を深めていきたいと思います。

ＩＣＴ（アイシーティ）とは？

「情報通信技術（Information and Communication Technology）」の略で、情報や知識を伝達・共有するための技術全般を指します。

IT（情報技術）とほぼ同義ですが、ICT は特に通信技術を活用したコミュニケーションに重点を置いた言葉です。

災害ボランティアセンターとは？

地震や大雨などの災害が起きた際に、市の要請を受け、社会福祉協議会が立ち上げ、運営します。

困りごとを抱える被災者とボランティアをつなぎ、復旧・復興に向けたお手伝いをする役割を持ちます。

（活動例）

被災者とのお話・心のケア、
家具の搬出、清掃、泥出しなど

ボランティア団体紹介

愛媛ＳＧＧクラブ宇和島支部

外国人観光客の方に、主に英語で市内の観光名所を案内しています。

外国船が入港したり、依頼があったときにはお出迎えやガイド、買い物のお手伝いを行っています。また、街で外国人観光客に声をかけて案内することもあります。

案内をしていると、自分の国のこと、なぜ日本に来たのかなど会話が広がることも。出会った方が「宇和島に来てよかった」「いい思い出ができた」と思ってくださると嬉しく思います。メンバー自身も一期一会のひとときを大切に思い、楽しい時間を共有しています。

月に1回の例会では、よりよいガイドが行えるよう、英訳などのスキルを高め合ったり、外国人ゲストを招きお話いただいたりしています。

英語のスキルをお持ちで役立てたいと思っておられる方、一緒に活動しませんか？

【例会の様子】南予在住の外国人の方をゲストに、国の話や体験談を伺ったり、料理教室を開催したりしています。

【活動情報】
愛媛ＳＧＧクラブ宇和島支部例会
日時：毎月第２土曜日 10：30～12：00
場所：宇和島市総合福祉センター
活動報告や情報交換、ゲストの講話、観光案内の学習などを行っています。
見学も大歓迎です♪

手話サークルはまゆうの会

皆さん、身近な場所で手話を見たことはありますか？手話は聴覚に障がいのある方の文化として発展した言葉です。

手話サークルはまゆうの会は、聴覚に障がいのある方との交流を通して、手話や障がいについての理解を広め、誰もが住みやすい地域づくりを目指しています。

定例会は毎週木曜日。昼の部と夜の部で集まっています。小学校入学前の子どもさんでも、八十歳を超えてからの挑戦も、みんなみんなウエルカム！聞こえない人と聞こえる人が一緒になって、手話の学習や交流を行っています。初心者でも大丈夫！工夫しながら伝え合って、コミュニケーションを楽しみましょう♪

試しに遊びに来られませんか？見学だけでもＯＫです！

【定例会の様子】交流を通して伝え方の勉強を楽しく行っています。

【活動情報】
手話サークルはまゆう定例会
＜昼の部＞
日時：毎週木曜日　13：30～15：00
場所：むつみ荘
＜夜の部＞
日時：毎週木曜日　19：00～21：00
場所：宇和島市総合福祉センター

【お問合せ先】宇和島市社会福祉協議会　地域福祉課　☎ 0895-23-3711

成年後見制度相談会〈無料〉

8月 8月24日(日) 13:00～16:00
宇和島市総合福祉センター
相談員：宇和島公証役場　公証人

10月 10月9日(木) 9:00～12:00
岩松公民館　2階
相談員：行政書士

成年後見制度のほかに遺言や相続についてもご相談をお受けできます。

※相談受付は、予約の方を優先させていただきます。

☎0895-28-6033
(権利擁護センター ピット)

心配ごと相談所〈無料〉
～暮らしの中の困りごとなど～

社会福祉士などの専門職員が、生活上のいろいろな困りごと・悩みごとをおうかがいし、必要なサービスや関係機関と連携して、解決に向けたお手伝いをいたします。

秘密は厳守いたしますので、ひとりで悩まず、お気軽にご相談ください。

相談受付 平日 9:00～17:00

新型コロナウイルス感染症の特例貸付償還における相談窓口

令和５年１月より特例貸付の償還が始まりましたが、計画通りの返済が難しい場合は相談をお受けしています。

状況により、償還猶予や一部免除などのご案内をできることがありますので、お気軽にご相談ください。

相談受付 平日 9:00～17:00

窓口 宇和島市社会福祉協議会
地域福祉課 ☎23-3711

親子のひろば〈無料〉
～大きくなぁれ！子どもたち～

未就学児と、その家族が気楽に集まれる場所です。
お気軽にご参加ください。

詳しくはこちら

時間 10:00～11:30

場所 宇和島市総合福祉センター２階

8月 4日(月)・6日(水)・20日(水)
28日(木)

9月 1日(月)・3日(水)・11日(木)
17日(水)・25日(木)

相談・測定 保健師による育児相談・体重身長測定
8月4日(月) 10:30～
※体重身長測定を希望される方は、感染対策のため、各自タオルをご用意ください。

※詳細につきましては、随時ホームページをご確認ください。

※大雨暴風などの警報発令時は、中止とします。

お出かけのお手伝いさせて頂きます。
介護タクシー 合同会社 優愛(ゆうあい)
お一人での歩行に不安のある方、どなたでも利用できます。
お気軽にお問い合わせください。(車椅子貸出無料)
宇和島市三間町大藤1049 ☎0895-49-4833
予約・お問い合わせ 080-1029-5328

社会福祉法人 宇和島市社会福祉協議会
〒798-0003 愛媛県宇和島市住吉町一丁目6番16号
TEL(0895)23－3711/FAX(0895)24－7889
https://www.uwajima-shakyo.or.jp

【吉田支所】宇和島市吉田町東小路甲58-5 TEL(0895)52-3166
【三間支所】宇和島市三間町迫目126 TEL(0895)58-1051
【津島支所】宇和島市津島町岩松甲471番地 TEL(0895)20-8101

Instagram ホームページ